

# Kyoto Traditional Industries Internship Exhibition

京都精華大学では1980年より約40年にわたり、夏期の約2週間、京都の伝統産業に携わる工房・企業の現場に弟子入りして学ぶ「京都の伝統産業実習(学外実習)」プログラムを実施しています。2018年度も染織、和紙、京版画、木工芸、金工芸、文化財修復などの様々な分野の実習先19社で、芸術学部・デザイン学部の3・4年生30名が実習を行いました。その成果発表報告展を開催します。

2018年11月27日 [火] – 12月7日 [金]

11時–18時 日曜休館

京都精華大学 ギャラリー・フロール / 入場無料

協力(実習先・順不同)……【織物】(株)川島織物セルコン / 【綴織】細見綴織工房 / 【京友禅】(株)千總 / 【草木染組紐】(有)藤三郎紐 / 【染色】染司よしおか / 【和紙】手漉き造紙工房 風空路 / 【京唐紙】唐長 / 【京版画】佐藤木版画工房 / 【陶磁器】竹中浩工房 / 【漆工芸】好謙漆工房 / 【木工芸】宮崎木材工業(株)、中川木工芸比良工房 / 【京人形】面庄工房 / 【京象嵌】(株)川人象嵌 / 【文化財修復】(株)さわの道玄 / 【京表具・文化財修復】(株)岡墨光堂 / 【お香】(株)松榮堂 / 【茶筒】開化堂 / 【地場産業支援】鯖江市役所

2018年度

「京都の伝統産業実習」

報告展

# 二〇一八年「京都の伝統産業実習」報告口展

2018年11月27日 [火] - 12月7日 [金] 11時 - 18時 日曜休館 京都精華大学 ギャラリー・フロール / 入場無料

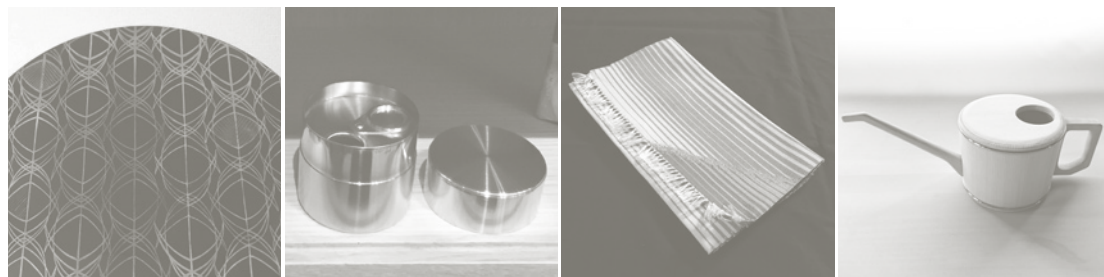
学生に伝統産業への入り口を開くべく、京都精華大学では京都の伝統工芸や産業の現場で、直接指導を受けながら学ぶ「京都の伝統産業実習(学外実習)」を1980年より約40年間にわたり実施してきました。お世話になった実習生は延べ約3500人になります。

京都の文化や伝統を支えてきたのは、重層的な文化と各時代の生活に合わせて先進性を要求されてきた伝統産業です。現在、伝統産業は生活様式の変化により危機に瀕しています。これは伝統産業に関わっている人々だけの問題ではなく、私たち生活者全体の問題であり、日本の生活文化全体の問題といえます。

京都の伝統芸能や伝統文化、伝統産業の危機は私たちの生活様式の変化に伴う構造的なものです。もう一つの課題は後継者の育成と伝統産業従事者の生活基盤の安定化です。伝統産業に従事する人々も現代の生活に合わせたモノ創りの努力をしなければなりません。そのためには、長年にわたって伝統を蓄積し支えてきた伝統産業の現場から、真摯にその技術と型を学び取り、それを国際的に発展させる新しい感覚と創造力を持った若い人材の養成が急務と言えます。

本プログラムはこの考え方を具現化したもので、現在、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の共通科目として開講されています。今年度も染織、和紙、版画、木工芸、金属工芸、文化財修復など様々な分野で、3・4年生30名が実習を行いました。

本展では、実習生の実習成果作品の展示を行います。実習生たちは、伝統工芸や産業の豊かな価値を発見し創造への自覚を深めています。皆様にはその成果をご覧ください、手仕事のもつ意義や確かな手技の創り出す伝統工芸・産業の魅力を感じ取っていただければ幸いです。



漆工芸

茶筒

綴織

木工芸

## 「実習生トーク」

日時/11月28日(水) 10時40分～12時10分 場所/京都精華大学 黎明館L-101

今年度実習に参加した学生が実習内容や制作した作品について成果報告を行います。

関連  
プログラム

## 公開授業「京都の伝統工芸講座2」

毎週水曜/10時40分～12時10分 場所/京都精華大学 黎明館L-101

「京都の伝統産業実習」の前段階として学生が履修する講義科目「京都の伝統工芸講座2」を一般公開しています。

各界の専門の方々をお招きし、貴重な知識と日本文化への理解を深めるための科目です。

11月21日 田畑喜八氏 (社日本染織作家協会理事長)

12月5日 野口康氏 (箔屋野口 四代目当主)

問い合わせ先 京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター TEL 075-702-5263

アクセス 叡山電鉄鞍馬線「京都精華大前」下車  
地下鉄烏丸線「国際会館」下車、3番出口よりスクールバス  
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

<http://www.kyoto-seika.ac.jp/fleur/>

